

「伊豆の国市公共施設再配置計画（改訂案）」に対する 意見公募（パブリックコメント）の取りまとめ結果について

「伊豆の国市公共施設再配置計画（改訂案）」に対する意見公募（パブリックコメント）の結果、貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。お寄せいただいたご意見とそれに対する市の考え方につきまして、下記のとおり公表いたします。

記

1. 意見公募（パブリックコメント）の実施期間等

- (1) 募集期間 令和5年4月26日（水）から5月26日（金）午後5時まで
- (2) 計画(改訂案) 伊豆長岡庁舎2階企画課窓口、韮山支所市民課窓口、大仁支所市民
の公開場所 課窓口、中央図書館窓口、韮山図書館窓口、市HP
- (3) 意見提出方法 持参、郵送、FAX、メール

2. 意見提出件数 4人（意見総数 13件）

3. 計画に反映した意見 2件

3. 提出されたご意見と市の考え方

該当ページ	意見	市の考え方
6	<p>中期と後期の和暦の記述更新に誤りがあるので訂正すべき。</p> <p>中期(2026(平成 38))年度⇒中期(2026(令和 8))年度 後期(2036(平成 48))年度⇒後期(2036(令和 18))年度</p>	<p>ご意見のとおり修正いたします。</p>
7～8	<p>伊豆の国市は、平地と広い山地を有するという地理的特徴があり、施設配置数を限定すると住民のアクセスの利便性が低下する。こうしたことを踏まえ、以下の3つの複合施設を配置する案を提案する。</p> <p>(1) 長岡総合会館＋長岡中央公民館(あやめ会館) 大劇場を有する文化センター施設で、中小のホールも備える集会施設の機能を持たせる。</p> <p>(2) 韮山文化センター(韮山時代劇場)＋韮山農村環境改善センター 中規模な劇場や映像ホール、図書館に加えてさらに老人福祉施設を有する韮山地区センターとする。一部、行政機能も残す。 現在の韮山文化センターに増改築して、施設を増床する。</p> <p>(3) 大仁市民会館(大仁くぬぎ会館) 小規模ホールを有し、現状の大仁くぬぎ会館と同様の機能を持つ地区集会センターとする。 現在のくぬぎ会館は、アクセス道路が急な坂道で狭いため、平地に新たに配置することを検討する。 老人福祉施設とともに、大仁庁舎内にある健康福祉関連部署の大仁庁舎の一部行政機能の移管も検討する。</p>	<p>文化施設及び集会施設については、将来の人口減少により施設利用者の減少が予測されることなどから、韮山農村環境改善センターの更新時期(後期)に、敷地規模等を考慮し、適切な位置に機能統合を図ることとしています。</p> <p>なお、再配置に当たっては、機能統合を無理に進めるのではなく、ニーズがあり施設が使えるのであれば、有効活用するとの考え方のもと、見直し後の計画を策定しております。</p> <p>なお、大仁市民会館の機能は、2017(平成 29)年4月から大仁くぬぎ会館(旧大仁高校)に移転し供用を開始していますが、2025(令和7)年度までの借用期限があることから、その延長については静岡県と協議していくとともに、くぬぎ会館返却後の代替施設についても検討します。</p>

該当ページ	意見	市の考え方
20	<p>新たに整備した施設のリストから「大仁くぬぎ会館」が除外されている。</p> <p>「大仁くぬぎ会館」は、静岡県から施設を借用して運営している施設だが、借用期限が迫っている。集会センター施設として市民サービスに寄与している施設であり、機能の再配置の検討が急務であると考ええる。</p>	<p>大仁くぬぎ会館は、2025(令和7)年度までの借用期限があることから、その延長については静岡県と協議していくとともに、くぬぎ会館返却後の代替施設についても検討します。</p> <p>なお、本計画では市が所有する公共建築物を対象としていることから、県や民間から借用している借受け財産については「新たに整備した施設リスト」の集計の対象にはしていませんが、機能の再配置の検討対象にはしています。</p>
20 23～26 34～35	<p>「大仁市民会館(くぬぎ会館)」は、音楽や演劇などを上演できる劇場施設を備えていないため、施設中分類は「b文化施設」ではなく「a.集会施設(センター的施設)」に該当すると考えられる。(他2件)</p>	<p>くぬぎ会館は、施設を廃止した大仁市民会館の代替機能を持つ施設であると市では位置づけているため、計画書においては大仁市民会館と同じ施設類型である文化施設として整理しております。</p>
23～26 31～35 80～83 97～98	<p>見直し案は、再配置の時期を前期から後期へ変更するものとなっているが、先送りせずに機能統合することが重要ではないか。</p> <p>先送りすればするほど、人口減、財政難、市町村合併などの検討材料が増え苦しい状況になると思う。</p> <p>また、施設の分類について、市民文化系施設の集会施設(センター的施設)と文化施設、行政系施設の庁舎等を同じ大分類の枠組みとして整理することで、複数の分類に跨っている再配置の内容が分かりやすくなるのではないか。</p>	<p>文化施設と大規模な集会施設については、「利用ニーズ調査」の結果、1つの施設へ集約すると、充足できない利用が多数発生することから、当面は複数の施設を供用することが必要であると判断しております。</p> <p>また、劣化状況調査の結果、建物の躯体は部分的な劣化のため、引き続き使用することが可能である状態にあることから、今回の見直しにより再配置の時期を後期に変更することとしました。</p> <p>なお、施設の分類につきましては、上位計画である公共施設等総合管理計画において、施設類型毎に示されている更新や大規模改修の単価を使用して更新等費用を推計したことや、施設類型毎にサービスや施設の適正化に関する評価を行ったことなどから、現在の分類を引き続き使用いたします。</p>

該当ページ	意見	市の考え方
36～39 89	<p>公共図書館は、全年齢対象の情報提供・社会教育施設であり、歩いて行ける身近な場所に存在すべきものであり、全ての地域にニーズに応えられなければならない。</p> <p>長岡(江間)地域は図書館が無いため、善処されたい。 (他1件)</p>	<p>図書館については、施設の供給量が多く、将来人口の減少により施設利用者の減少が予測されることなどから、規模の大きな施設の更新時期を踏まえ、計画期間の後期までに統合を図ることとしております。</p> <p>また、再配置に当たっての留意点として、施設の利用実績などに留意して施設規模を検討することや、人口の集積状況や交通利便性の高い位置を候補地として検討することとしております。</p>
39	<p>伊豆の国市の「電子図書館サービス」が開始されている。</p> <p>「令和5年4月からサービスが開始された「電子図書館」の利用者数や電子書籍数の今後の推移についても考慮して、施設規模を検討する」ことについて、追記した方が良いと考える。</p>	<p>いただきましたご意見につきましては、P39の再配置にあたっての留意点の内容において、下記のとおり反映させていただきます。</p> <p>旧「<u>施設の利用実績や市民意向に留意して、施設規模を検討します。</u>」</p> <p>新「<u>施設の利用実績や市民意向に留意するとともに、新たに開始した電子図書館の利用者数や電子書籍数の今後の推移についても考慮して、施設規模を検討します。</u>」</p>
71～75 99	<p>高齢者福祉施設の3施設合計で、年間 4,300 万円の赤字が生じており、民間企業では経営が成り立たない状況にある。</p> <p>受益者負担の見直しや指定管理制度の導入による経費節減等の財政的な観点を重視した見直し計画への変更が必要と考える。</p>	<p>高齢者健康会館(やすらぎの家)、老人憩いの家水晶苑、高齢者温泉交流館の3施設の利活用の方針については、2022(令和4)年度に設置した「高齢者福祉施策のあり方審議会」の検討結果を踏まえて、再配置の方針を決定してまいります。</p>
87	<p>「スケジュール表」の長岡斎場の矢印の枠を赤色にして、「新火葬場整備済」を追記した方が良いと思う。</p>	<p>長岡斎場につきましては、供用を廃止いたしましたが、建物は残っているため現状の記載のとおりとしております。</p> <p>また、今回の計画見直しでは、計画策定後に新たに整備した施設については、他の施設と同様に、P20の一覧に記載しております。</p>

該当 ページ	意 見	市の考え方
全体	<p>全体的に先延ばしされただけの計画変更と見える。</p> <p>次の若い世代に全て頼るのではなく、今から余裕を作り、次の世代が新しいことを考えられる行政運営が必要。</p> <p>廃止できる施設は中間で廃止し、後期では新規事業へ移行できるスクラップ&ビルドを徹底するべきではないか。</p>	<p>今回の見直しでは「延床面積の削減」だけでなく、「施設の有効活用」にも重点を置くこととし、今後も有効に利活用が見込まれる施設などについては、施設の長寿命化を含め更新等が必要となる時期まで有効活用することを念頭に、計画の見直しを実施することとしました。</p> <p>また、文化施設や庁舎などの大規模な施設の再配置の時期が、前期から後期に先送りされることとなりますが、可能な場合は複合的な機能配置も視野に入れるなど積極的に有効活用を行い、将来訪れる更新時期において最適な規模や手法による再配置を行うことにより、機能や経費の面で無駄のない再配置が実現できるものと考えております。</p> <p>なお、現段階では中期や後期に再配置することになっている施設についても、利用ニーズの変化や老朽化に伴う改修経費などを毎年度検討したうえで、必要があると判断したときは計画の前倒しによる機能統合等を進めていく考えであります。</p>